

[証券コード6155]

# TAKAMAZ

## 第42期中間事業報告書

平成14年4月1日から平成14年9月30日

株主の皆さまへ

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援、ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成14年9月30日をもちまして第42期上半期（平成14年4月1日から平成14年9月30日）を終了いたしましたので、ここに営業の概況ならびに中間決算の状況についてご報告申し上げます。

## 営業の概況

### ●●●●●● 当上半期の市場動向および成果 ●●●●●●

当上半期のわが国経済は、総じて厳しい環境のまま推移し、景気は一部に持ち直しの動きがみられたものの、株価の下落や高水準の失業率など、景気回復への課題はまだ多くが残されております。企業の設備投資では下げ止まりの兆しが見られましたが、工作機械業界は依然として厳しい状況が続いてまいりました。

このような状況の中で、当社といたしましては、工作機械事業の受注高を確保するために、4月にはアジア戦略機「A-WAVE」、7月には国内戦略機「J-WAVE」を販売開始し、7月には欧州戦略機として「X-200」「XY-120」を開発する等、地域毎の戦略機政策を推進してまいりました。自動車部品加工事業では安定的な生産を続け、新分野事業では、IT関連産業での在庫調整が進んだことから機械生産を再開し、順調に進めてまいりました。

しかしながら、上半期の工作機械業界全体の受注高が前年同期に比べて15.1%の減少であった影響は大きく、当社の工作機械受注高は36億15百万円と、前年同期と比べ、5億85百万円(13.9%)の減少となりました。このような環境のもと、各社が受注確保に向けて、価格競争を激化させたため、売上高減少に加え、利益の減少を余儀なくされました。その結果、当上半期の売上高は、42億39百万円(前

年同期比11.3%減)となり、そのうち内需が30億24百万円(同24.0%減)、外需が12億15百万円(同52.0%増)でした。また、営業利益は13百万円(同92.8%減)、経常利益は20百万円(同89.1%減)、中間純損失は82百万円と、減収減益となりました。

### ●●●●●●●●●● 今後の見通し ●●●●●●●●●●

世界経済の回復が緩やかな中、日本経済はV字回復が望めない状況であり、当社としては今期予想を売上高87億49百万円、経常利益2億89百万円、当期純利益72百万円と修正させていただきました。

今後における受注強化策といたしまして、9月にIMTS(シカゴ)、10月にBIMUショー(イタリア)、JIMTOF(東京)と、3つの大きな展示会でいただいた多くの引合案件を受注へと結びつけるよう、積極的なユーザ密着型の営業を展開しております。また、地域に密着した新機種開発も引き続き進めており、下半期中にはさらに数機種の開発を進めております。

新分野事業につきましては、今後の状況次第では新たな設備投資も視野にいて、生産・開発を進めてまいります。

今後も企業体質の強化や業績を向上させるために、新商品の開発、原価低減や経費削減、新分野の拡大を推進してまいりますので、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成14年12月



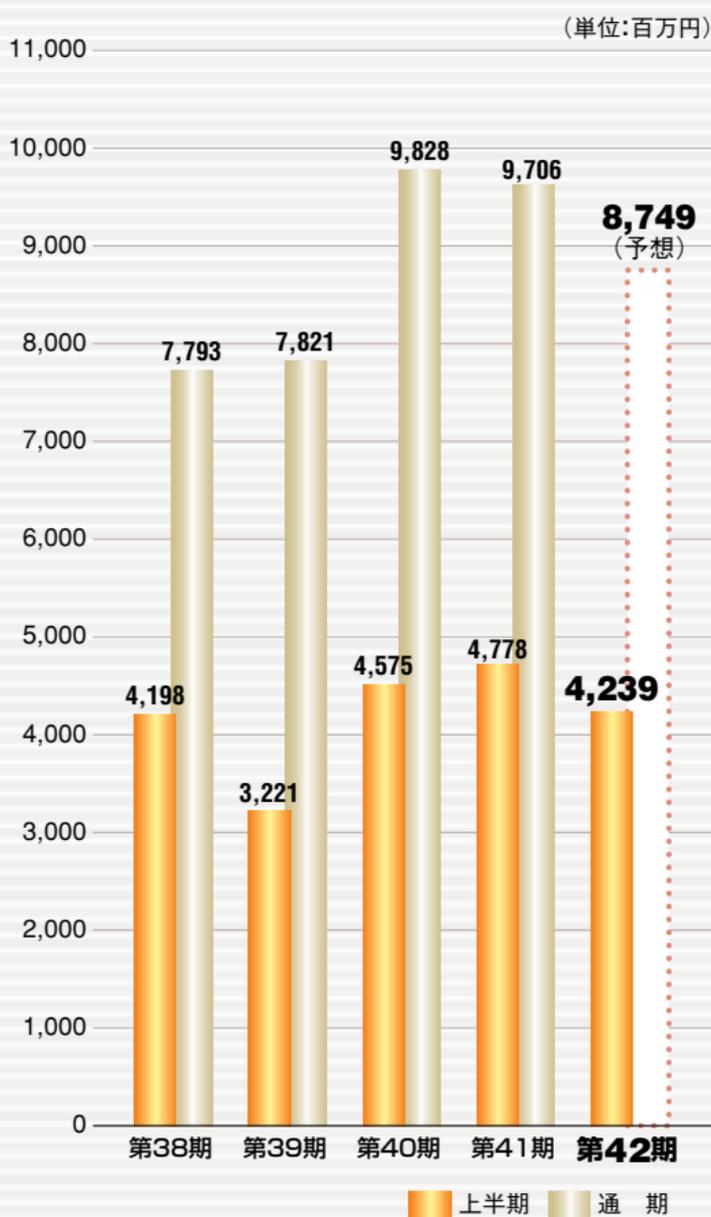
代表取締役社長

高松 喜与志

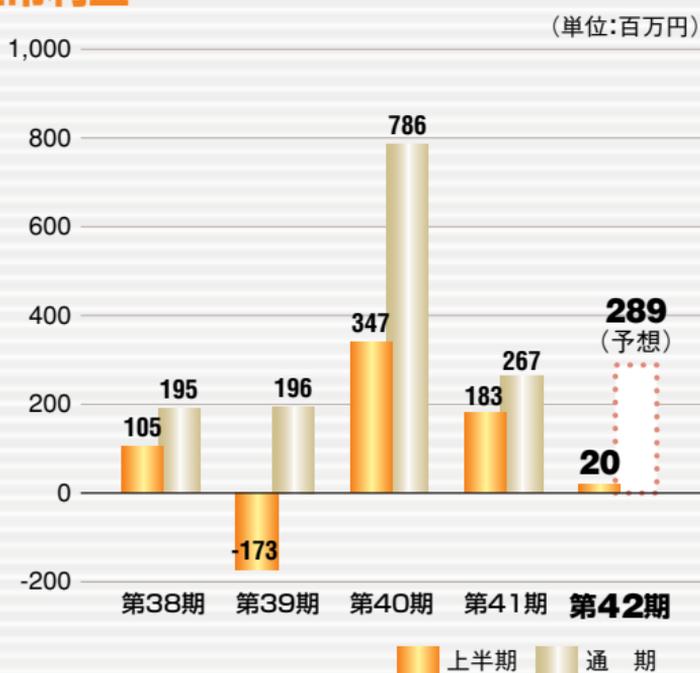
## 業績の推移

今後も厳しい状況が続くと予想されますが、各地域向けに開発した新商品を推進する事、ユーザーに密着してニーズに合わせた仕様を提供していく事で、利益確保を目指します。

### 売上高



## 経常利益



## 当期純利益



# 貸借対照表

## 中間貸借対照表 (平成14年9月30日現在)

(単位：千円)

科目	当中間期 (平成14年9月30日)	前中間期 (平成13年9月30日)	前期 (平成14年3月31日)
<b>(資産の部)</b>			
<b>流動資産</b>	<b>5,389,274</b>	<b>6,499,220</b>	<b>6,013,515</b>
現金及び預金	1,034,714	1,198,180	1,183,949
受取手形	1,138,079	1,243,707	1,350,964
売掛金	1,841,224	1,920,421	1,776,991
たな卸資産	1,129,473	1,922,848	1,486,701
繰延税金資産	211,807	185,175	182,226
その他	60,692	60,011	64,002
貸倒引当金	△ 26,718	△ 31,124	△ 31,320
<b>固定資産</b>	<b>3,512,921</b>	<b>3,414,483</b>	<b>3,674,572</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>(3,117,980)</b>	<b>(2,970,455)</b>	<b>(3,219,774)</b>
建物	572,928	619,677	595,152
機械及び装置	779,465	496,230	863,435
土地	1,604,099	1,604,099	1,604,099
その他	161,486	250,446	157,085
<b>無形固定資産</b>	<b>(2,330)</b>	<b>(3,005)</b>	<b>(2,330)</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>(392,611)</b>	<b>(441,022)</b>	<b>(452,467)</b>
投資有価証券	188,078	170,092	192,248
関係会社株式	50,000	50,000	50,000
その他	230,171	246,203	292,405
貸倒引当金	△ 75,638	△ 25,273	△ 82,187
<b>資産合計</b>	<b>8,902,196</b>	<b>9,913,703</b>	<b>9,688,087</b>

(単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(平成14年9月30日)	(平成13年9月30日)	(平成14年3月31日)
<b>(負債の部)</b>			
<b>流動負債</b>	<b>3,963,471</b>	<b>4,929,177</b>	<b>4,554,245</b>
支 払 手 形	1,543,998	2,457,231	2,253,788
買 掛 金	605,605	736,248	565,417
短 期 借 入 金	1,460,000	1,000,000	1,200,000
1年以内返済予定の長期借入金	78,480	390,520	219,520
未 払 法 人 税 等	3,995	66,725	36,263
賞 与 引 当 金	80,906	86,067	73,239
そ の 他	190,486	192,385	206,015
<b>固定負債</b>	<b>426,346</b>	<b>338,386</b>	<b>463,992</b>
長 期 借 入 金	69,200	147,680	108,440
繰 延 税 金 負 債	110	18,011	14,737
退 職 給 付 引 当 金	240,275	172,654	206,958
そ の 他	116,759	41	133,856
<b>負 債 合 計</b>	<b>4,389,817</b>	<b>5,267,564</b>	<b>5,018,237</b>
<b>(資本の部)</b>			
<b>資本金</b>	<b>1,247,395</b>	<b>1,247,395</b>	<b>1,247,395</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>1,190,355</b>	<b>1,190,355</b>	<b>1,190,355</b>
資 本 準 備 金	1,190,355	1,190,355	1,190,355
<b>利益剰余金</b>	<b>2,056,787</b>	<b>2,200,326</b>	<b>2,211,479</b>
利 益 準 備 金	95,608	95,608	95,608
任 意 積 立 金	1,917,832	1,888,006	1,888,006
中間(当期)未処分利益	43,346	216,711	227,863
その他有価証券評価差額金	17,840	8,062	20,620
<b>資 本 合 計</b>	<b>4,512,378</b>	<b>4,646,139</b>	<b>4,669,849</b>
<b>負 債 資 本 合 計</b>	<b>8,902,196</b>	<b>9,913,703</b>	<b>9,688,087</b>

(注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 中間財務諸表等規則の改正により、当中間期における中間貸借対照表の資本の部については、改正後の中間財務諸表等規則により作成しております。なお、前中間期、前期についても、改正後の表示に組替えております。

# 損益計算書／新商品のご案内

## 中間損益計算書 (平成14年4月1日～平成14年9月30日)

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	自平成14年4月1日 至平成14年9月30日	自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	自平成13年4月1日 至平成14年3月31日
売上高	4,239,316	4,778,458	9,706,235
売上原価	3,413,540	3,714,123	7,708,574
売上総利益	825,776	1,064,334	1,997,661
販売費及び一般管理費	812,372	878,125	1,732,034
営業利益	13,404	186,208	265,627
営業外収益	27,648	16,458	36,219
営業外費用	21,003	19,365	33,910
経常利益	20,048	183,302	267,936
特別利益	8,388	12,850	—
特別損失	148,724	23,530	57,025
税引前中間(当期)純利益 又は中間純損失(△)	△ 120,287	172,622	210,911
法人税、住民税及び事業税	3,995	66,083	102,541
法人税等調整額	△ 42,215	17,147	7,826
中間(当期)純利益 又は中間純損失(△)	△ 82,066	89,391	100,543
前期繰越利益	125,412	127,320	127,320
中間(当期)未処分利益	43,346	216,711	227,863

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## Introduction of New Products

アジア向け戦略機新登場!!

新商品

A-WAVE/J-WAVE



当社は経営戦略の一つとして、世界各地域のニーズを捉えた戦略機の開発に力を入れております。

その1つとして開発いたしましたのが「A-WAVE」であります。この「A-WAVE」は世界の経済が低迷する中でも市場に力のあるアジア地域をターゲットに開発しました。

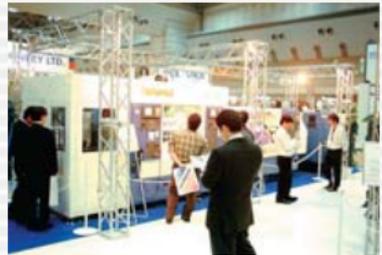
「A-WAVE」は、自動化の部分省いて機能を限定したこと、従来機の約30%の部品点数削減による原価低減に成功したことにより、低価格を実現し、国際的に価格競争力を持った機械であります。それでいて従来機と同等以上の高い加工精度を持っております。

また日本国内では無人化、省人化のニーズが強いことを受け、「A-WAVE」にローダなどの自動化装置を付加した「J-WAVE」を開発いたしました。

この両機種はヨーロッパ向け戦略機や、環境問題に対応した研究の成果であるNEDOのコンセプトマシン等とともに、10月28日(月)～11月4日(月)に東京ビッグサイトで行われた東京国際見本市(JIMTOF)に出品いたしました。

延べ12万人も来場したこの展示会で紹介させていただいた新商品は、当社を訪れたお客様皆様に好評を受けまして、多くの受注・引合をいただきました。

これら新商品とともに今後開発していく戦略機も合わせて、多くの人々によさをアピールしていくことで、当社機械を設備していただくよう努力してまいります。



会場での当社ブース風景

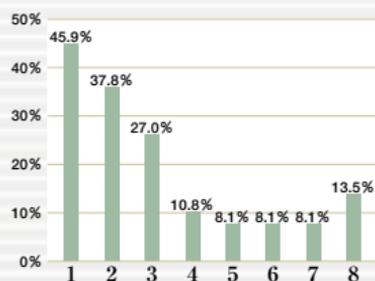
# アンケートのご報告／会社の概況 (平成14年9月30日現在)

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

第41期事業報告書に同封いたしましたアンケートをご返送いただきましたので、その集計結果の一部を掲載させていただきます。(複数回答可)

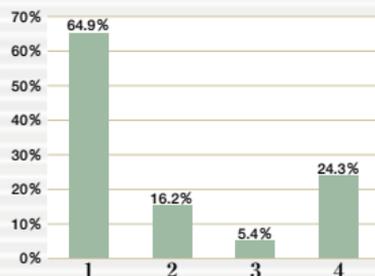
## ●当社の株式を購入された理由はなんですか。

1. 将来性……………45.9%
2. 値上がり期待感 ……37.8%
3. 収益性……………27.0%
4. 安全性……………10.8%
5. 事業内容 ……8.1%
6. 財務内容 ……8.1%
7. 証券会社勧誘 ……8.1%
8. その他……………13.5%



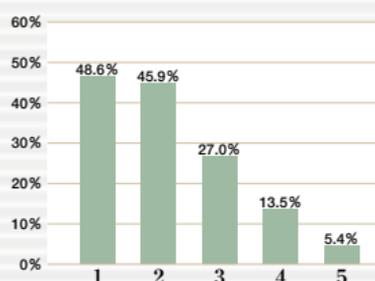
## ●当社の株式について今後どのような方針をお持ちですか。

1. 長期保有……………64.9%
2. 買い増し ……16.2%
3. 売却 ……5.4%
4. 未定……………24.3%



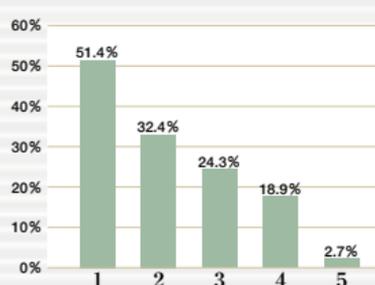
## 【上記方針を決定するための判断材料はなんですか。】

1. 株価……………48.6%
2. 業績……………45.9%
3. 配当……………27.0%
4. 中期事業計画……………13.5%
5. その他 ……5.4%



## ●今後、どのような情報を望まれますか。

1. 経営トップのビジョン ……51.4%
2. 財務・業績情報 ……32.4%
3. 中期経営計画……………24.3%
4. 事業内容の紹介……………18.9%
5. その他 ……2.7%



このアンケートの結果では、当社の将来に期待されている方、また、経営トップのビジョンを望まれている方が多いので、今後一層業績の向上、IRの充実をはかっていく所存であります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 会社概要

商号	高松機械工業株式会社
設立	昭和36年7月
資本金	12億4,739万円
本社	石川県松任市旭丘1丁目8番地
従業員数	287名
ホームページアドレス	<a href="http://www.takamaz.co.jp">http://www.takamaz.co.jp</a>

## 株式の状況

①会社が発行する株式の総数	18,000,000株
②発行済株式総数	8,350,000株
③1単元の株式数	1,000株
④株主数	407名

## 役員

代表取締役社長	高松喜与志
常務取締役(生産本部担当)	前田充夫
常務取締役(営業本部担当)	中西与平
取締役(産機部長)	池上佳信
取締役(営業本部国内営業部長)	川上友安
取締役(管理部長)	溝口清義
取締役(品質保証部長)	水田喜武
常勤監査役	岡田武男
監査役	田井正樹
監査役	谷口郁朗

## ネットワークとサービス体制



## 株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	(1) 定時株主総会 3月31日 (2) 利益配当金 3月31日 (3) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社証券代行部
(郵便物送付先) 電話照会先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社証券代行部 ☎0120-175-417 (住所変更等用紙のご請求) 自動音声認識装置による24時間対応 ☎0120-176-417 (その他のご照会)
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社全国各支店
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞
お 問 い 合 わ せ 先	管理部 TEL 076-274-1411 (直通) FAX 076-274-1418



**TAKAMAZ**  
高松機械工業株式会社